

様式第1号(第2条関係)

工事起工(変更)概要書  
~~委託執行(変更)概要書~~

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施工年度	令和 7 年度	工事名	鹿島共同可燃ごみクリーンセンター隣接地整備工事	設計書
------	---------	-----	-------------------------	-----

施工場所等	神栖市 東和田 地内
-------	------------

<p>設計概要</p> <p>工事延長 L=136.3m          施工幅員 W=30.0m          路盤工 A=1,830㎡          不陸整正 A=1,590㎡</p> <p style="text-align: center;">※予定工期 契約締結日翌日から令和8年3月19日</p>	<p>変更理由</p>
---	-------------

項目	起 工	第 回 変 更	第 回 変 更	増 △ 減
起 工 額	円	円		
請負に付する額又は請負額				
工 事 価 格	円	円		
測量試験費又は工事雑費				
消 費 税 相 当 額	円	円		
請 負 決 定 額	円	円		円

<p>変更業務価格算定基準</p>	<p>変更工事価格 = 変更積算工事価格 × 請負比率</p>	<p><math>\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に付する額}}</math></p>										
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">変更積算工事価格</td> <td style="padding: 5px;">×</td> <td style="padding: 5px;">請負比率</td> <td style="padding: 5px;">=</td> <td style="padding: 5px;">変更工事価格</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> </table>	変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更工事価格	円				円	
変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更工事価格								
円				円								



本 工 事 内 訳 書

No. 2

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装工						
	鉄鋼スラグ CS-40 路盤工 t=20cm	m2	1,830			代価第 5 号参照
	鉄鋼スラグ CS-40 不陸整正 補足材 t=13cm	m2	1,590			代価第 6 号参照
	路床面均	m2	1,830			代価第 7 号参照

本 工 事 内 訳 書

No. 3

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
付帯工						
	トラロープ設置	式	1			代価第 8 号参照
	A型集水桝修復 グレーチング撤去復旧	箇所	1			代価第 9 号参照
	B型集水桝修復 グレーチング撤去新設	箇所	2			代価第 10 号参照
	暗渠排水管 VUφ300	m	6			代価第 11 号参照
	巻立てコンクリート	箇所	2			代価第 12 号参照
	コンクリート削孔 φ300用	箇所	2			代価第 13 号参照
	コンクリート取壊	m <sup>3</sup>	0.1			代価第 14 号参照
	殻運搬 コンクリート	m <sup>3</sup>	0.1			代価第 15 号参照
	殻処理 コンクリート	t	0.3			
	張芝工	m <sup>2</sup>	230			代価第 16 号参照
	客土工 山砂 t=10cm	m <sup>3</sup>	23			代価第 17 号参照

諸 経 費 算 出 表

No. 4

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費計						
共通仮設費率による計上		式	1			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費等		式	1			
契約保証費用		式	1			
工事価格						
消費税相当額		式	1			
請負工事費						



7鹿島共同再資源化センター駐車場整備工事

数量計算書

# 数量計算書

工事延長 L=136.3m(B.P-14.50~NO.6+1.80)

## 1 土工

1) 掘削	$V = 230.0 \times 0.1$				$= 23.0 \div 20 \text{ m}^3$
2) 床掘	$V = \begin{matrix} \text{集水桝A} \\ 0.2 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{塩ビ管} \\ 6.4 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{集水桝B} \\ 0.1 \end{matrix}$				$= 6.7 \div 10 \text{ m}^3$
3) 埋戻	$V = \begin{matrix} \text{集水桝A} \\ 0.2 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{塩ビ管} \\ 6.0 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{集水桝B} \\ 0.1 \end{matrix}$				$= 6.3 \div 10 \text{ m}^3$
4) 路床盛土	$V = \begin{matrix} \text{別紙参照} \\ 888.2 \end{matrix}$				$= 888.2 \div 890 \text{ m}^3$

## 2 舗装工

1) 路盤工	鉄鋼スラグ CS-40 t=20cm	別紙参照	$A = 1834.01$		$= 1834.0 \div 1,830 \text{ m}^2$
2) 不陸整正	鉄鋼スラグ CS-40 補足材 t=13cm	別紙参照	$A = 1587.01$		$= 1,587.0 \div 1,590 \text{ m}^2$
	別紙参照 平均厚= 207.30		$\div 1587.01$	$= 0.131$	
3) 路床面均		別紙参照	$A = 1834.01$		$= 1,834.0 \div 1,830 \text{ m}^2$



## 土 量 計 算 書

測 点	距 離	盛 土						摘 要
		面 積	平均積	立 積				
No. 0 - 4.500	0.000	0.0	----	----				
B.P No. 0	4.500	0.0	0.00	0.0				
No. 0 + 5.800	5.800	0.0	0.00	0.0				
No. 0 + 5.800	0.000	2.5	-----	-----				
No. 0 + 9.300	3.500	2.5	2.50	8.8				
No. 0 + 9.300	0.000	8.7	-----	-----				
No. 1	10.700	8.7	8.70	93.1				
No. 1 + 6.300	6.300	8.7	8.70	54.8				
No. 1 + 6.300	0.000	8.7	-----	-----				
No. 2	13.700	8.5	8.60	117.8				
No. 2 + 2.800	2.800	8.5	8.50	23.8				
No. 2 + 2.800	0.000	0.0	-----	-----				
No. 2 + 5.800	3.000	0.0	0.00	0.0				
No. 2 + 8.800	3.000	0.0	0.00	0.0				
No. 2 + 8.800	0.000	9.0	-----	-----				
No. 3	11.200	9.0	9.00	100.8				
No. 4	20.000	10.1	9.55	191.0				
小 計	84.500 <sup>m</sup>			590.1 <sup>m<sup>3</sup></sup>				



## 土 量 計 算 書

測 点	距 離	路盤面積						摘 要
		幅 員	平均積	面 積				
No. 0 - 4.500	0.000	0.00	----	----				
B.P No. 0	4.500	0.00	0.000	0.00				
No. 0 + 5.800	5.800	0.00	0.000	0.00				
No. 0 + 5.800	0.000	6.00	-----	-----				
No. 0 + 9.300	3.500	6.00	6.000	21.00				
No. 0 + 9.300	0.000	18.50	-----	-----				
No. 1	10.700	18.50	18.500	197.95				
No. 1 + 6.300	6.300	18.50	18.500	116.55				
No. 1 + 6.300	0.000	18.50	-----	-----				
No. 2	13.700	18.50	18.500	253.45				
No. 2 + 2.800	2.800	18.50	18.500	51.80				
No. 2 + 2.800	0.000	0.00	-----	-----				
No. 2 + 5.800	3.000	0.00	0.000	0.00				
No. 2 + 8.800	3.000	0.00	0.000	0.00				
No. 2 + 8.800	0.000	18.50	-----	-----				
No. 3	11.200	18.50	18.500	207.20				
No. 4	20.000	18.50	18.500	370.00				
小 計	84.500 <sup>m</sup>			1,217.95 <sup>m<sup>2</sup></sup>				



## 土 量 計 算 書

測 点	距 離	不陸整正面積			不陸整正体積			摘 要
		幅 員	平均積	面積	面 積	平均積	立 積	
No. 0 - 4.500	0.000	22.00	----	----	2.88	----	----	
B.P No. 0	4.500	22.00	22.000	99.00	2.88	2.880	12.96	
No. 0 + 5.800	5.800	22.00	22.000	127.60	2.88	2.880	16.70	
No. 0 + 5.800	0.000	16.00	-----	-----	2.41	-----	-----	
No. 0 + 9.300	3.500	16.00	16.000	56.00	2.41	2.410	8.44	
No. 0 + 9.300	0.000	3.50	-----	-----	0.43	-----	-----	
No. 1	10.700	3.50	3.500	37.45	0.43	0.430	4.60	
No. 1 + 6.300	6.300	3.50	3.500	22.05	0.43	0.430	2.71	
No. 1 + 6.300	0.000	10.50	-----	-----	0.83	-----	-----	
No. 2	13.700	10.50	10.500	143.85	0.83	0.830	11.37	
No. 2 + 2.800	2.800	10.50	10.500	29.40	0.83	0.830	2.32	
No. 2 + 2.800	0.000	29.00	-----	-----	4.76	-----	-----	
No. 2 + 5.800	3.000	29.00	29.000	87.00	4.76	4.760	14.28	
No. 2 + 8.800	3.000	29.00	29.000	87.00	4.76	4.760	14.28	
No. 2 + 8.800	0.000	10.50	-----	-----	0.85	-----	-----	
No. 3	11.200	10.50	10.500	117.60	0.85	0.850	9.52	
No. 4	20.000	10.50	10.500	210.00	1.29	1.070	21.40	
小 計	84.500 <sup>m</sup>			1,016.95 <sup>m<sup>2</sup></sup>			118.58 <sup>m<sup>3</sup></sup>	



# 代 価 表

掘削

1.0 m3 当り 一位代価表

	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		42	72							
K1	バックホウ[排出ガス対策型(第3次基準値)] クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	42	72							
R		37	91							
R1	運転手(特殊)	37	91							
Z		19	37							
Z1	軽油 陸上用	19	37							

積算単価

床掘

1.0 m3 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		19	72							
K1	<small>バックホウ(クローラ型)後方超小旋回型・超低騒音型・排山ガス対策型(第3次基準値)</small> 山積0.45m3(平積0.35m3)	19	72							
R		66	35							
R1	運転手(特殊)	66	35							
Z		13	93							
Z1	軽油 陸上用	13	93							

積算単価

埋 戻

1.0 m3 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		8	95							
K1	バックホウ[排出ガス対策型(2014年規制)] クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	8	37							
K2	タンパ(賃貸) 質量60~80kg	0	58							
R		87	50							
R1	普通作業員	53	26							
R2	特殊作業員	25	42							
R3	運転手(特殊)	8	82							
Z		3	55							
Z1	軽油 陸上用	2	72							
Z2	ガソリン レギュラー	0	83							

積算単価



路盤工 鉄鋼スラグ CS-40 t=20cm 1.0 m2 当り 一位代価表

K	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		13	80							
K1	モータグレーダ[排出ガス対策型(2014年規制)] 土工用・ブレード幅3.1m	9	53							
K2	ロードローラ[マグカム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] 運転質量10t	1	19							
K3	タイヤローラ[普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] 運転質量13~14t	1	18							
R		44	18							
R1	運転手(特殊)	19	50							
R2	普通作業員	7	09							
R3	特殊作業員	6	32							
R4	土木一般世話役	5	19							
Z		42	02							

積算単価

路盤工

鉄鋼スラグ CS-40 t=20cm

1.0 m2 当り 一位代価表

	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
Z1	路盤材 鉄鋼スラグCS-40 200mm	37	83							
Z2	軽油 陸上用	3	62							

積算単価

不陸整正 鉄鋼スラグ CS-40 補足材 t=13cm 1.0 m2 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		11	57							
K1	モータグレータ[排出ガス対策型(2014年規制)] 土工用・プレート幅3.1m	7	99							
K2	ロードローラ[マグカム・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] 運転質量10t	1								
K3	タイヤローラ[普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] 運転質量13~14t	0	99							
R		37	08							
R1	運転手(特殊)	16	31							
R2	普通作業員	5	97							
R3	特殊作業員	5	32							
R4	土木一般世話役	4	37							
Z		51	35							

積算単価

不陸整正 鉄鋼スラグ CS-40 補足材 t=13cm 1.0 m2 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
Z1	路盤材 鉄鋼スラグCS-40 130mm	47	84							
Z2	軽油 陸上用	3	03							

積算単価









暗渠排水管 VUφ300 1.0 m 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
R		16	42							
R1	普通作業員	11	53							
R2	土木一般世話役	4	89							
Z		83	58							
Z1	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管(VU) 300 318×9.2×4	83	58							

積算単価



コンクリート削孔  $\phi 300$  1.0 箇所 当り 一 位 代 価 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート削孔	$\phi 300$	箇所	1.000			
計						
一単位当り						

コンクリート取壊

1.0 m3 当り 一位 代 価 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 無筋構造物	昼間 人力施工 制約無	m3	1.000			
計						
一単位当り						

殻運搬

コンクリート(無筋) L=8.0km以下

1.0 m3 当り 一位代価表

	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		40	77							
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	40	77							
R		44	82							
R1	運転手(一般)	44	82							
Z		14	41							
Z1	軽油 陸上用	14	41							

積算単価

張芝工 100.0 m2 当り 一位代価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
造園工		人				
普通作業員		人				
高麗芝		m2	100.000			
購入土	山砂	m3	2.700			
植栽割増	枯保障	式	1.000			
計						
一単位当り						



路床盛土

1.0 m3 当り 一位代価表

	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		17	81							
K1	ブルドーザ[排出ガス対策型(2011年規制)] 湿地 7t級	9	51							
K2	振動ローラ(土工用)[フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型(2011年規制)] 運転質量11~12t	8	30							
R		66	35							
R1	運転手(特殊)	45	74							
R2	普通作業員	20	61							
Z		15	84							
Z1	軽油 陸上用	15	84							

積算単価





生コンクリート 小型構造物 1.0 m3 当り 一位代価表

	名称・規格(地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名称・規格(東京単価)	東京単価		東京単価備考
R		41	15							
R1	普通作業員	22	25							
R2	土木一般世話役	9	19							
R3	特殊作業員	7	69							
Z		58	85							
Z1	生コンクリート 18-8-25(20)(高炉)粗骨材として高炉スラグ砕石を使用	58	85							

積算単価

型枠 小型構造物 1.0 m2 当り 一位 代 価 表

R	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
R		100								
R1	型わく工	44	28							
R2	普通作業員	30	82							
R3	土木一般世話役	11	86							

積算単価





基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下 再生砕石RB-40 1.0 m2 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		5	04							
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	5	01							
R		74	10							
R1	普通作業員	35	62							
R2	特殊作業員	15	04							
R3	運転手(特殊)	13	95							
R4	土木一般世話役	8	98							
Z		20	86							
Z1	再生砕石 RB-40	16	17							
Z2	軽油 陸上用	4	66							

積算単価

基面整正

1.0 m2 当り 一位代価表

	名称・規格 (地区単価)	構成比(%)	地区単価	地区単価備考	名称・規格 (東京単価)	東京単価	東京単価備考
R		100					
R1	普通作業員	100					

積算単価

埋戻し

人力施工

1.0 m<sup>3</sup> 当り 一位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		0	25							
K1	タンパ(賃貸) 質量60~80kg	0	25							
R		99	40							
R1	普通作業員	88	46							
R2	特殊作業員	10	94							
Z		0	35							
Z1	ガソリン レギュラー	0	35							

積算単価

仕 様 書

# 特 記 仕 様 書

## 排出ガス対策型建設機械使用の原則化

1. 当工事における使用機械のうち排出ガス対策型と表示したものは原則として、それ以外の機械の使用は認められないので留意すること。
2. 排出ガス対策型建設機械の調達が困難である場合は、理由書を提出し、その理由が妥当であるか監督員と協議し決定する。(請負者の都合による場合は不可) この場合変更契約の対象工事とする。
3. 現場代理人は、排出ガス対策型建設機械を使用する場合、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
4. 請負者は、施工計画書に排出ガス対策型建設機械の機械名、規格等を記載し、監督員の確認を受けること。
5. 施工中の確認及び工事写真
  - イ) 指定ラベルが添付されていること。
  - ロ) 形式名が指定一覧表に記載されていること。
6. その他、疑問点がある場合は監督員と協議し決定するものとする。

# 特 記 仕 様 書

## a. 分別解体等・再資源化等[建設リサイクル法の対象建設工事]

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

## ① 分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法(※)
① 仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
② 土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
③ 基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
④ 本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥ その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

## ② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

## ③ その他

仮置き等必要条件があれば記載する。

2. 請負者は、分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、別添様式1により監督員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

## b. その他

工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

(様式-1)

リサイクル計画書 (詳細・積算段階)

1.設計概要

発注機関名	神栖市 道路整備課
工事名	7鹿島共同再資源化センター駐車場整備工事
施工場所	神栖市 東和田 地内
工事概要等	工事延長 L=136.3m 施工幅員W=30.0m 路盤工 A=1,830㎡ 不陸整正 A=1,590㎡
工期(予定)	令和 年 月 ~ 令和 年 月

2.建設資材利用計画

↓ 工事間利用、ストックヤード利用を含む。

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①x100	備 考
土砂	942.7 地山m <sup>3</sup>	29.7 地山m <sup>3</sup>	0地山m <sup>3</sup>	913.0 地山m <sup>3</sup>	3.2 %	
碎石	1499.4 トン	0トン	1499.4 トン	0.0 トン	100 %	
アスファルト混合物						
他産業からの再生材						

3.建設副産物搬出計画

↓ 建設発生土の場合、他工事、ストックヤードへの搬出分が該当

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥x100)	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨)/⑥x100
建設発生土	第1種 建設発生土						
	第2種 建設発生土	29.7 地山m <sup>3</sup>	29.7 地山m <sup>3</sup>	0.0 地山m <sup>3</sup>	0.0 地山m <sup>3</sup>	100 %	100 %
	第3種 建設発生土						
	第4種 建設発生土						
	泥土(浚渫土)						
合計	29.7 地山m <sup>3</sup>	29.7 地山m <sup>3</sup>	0.0 地山m <sup>3</sup>	0.0 地山m <sup>3</sup>	0.0 地山m <sup>3</sup>	100 %	100 %
コンクリート塊	0.1 トン	0 トン	0 トン	0.1 トン		0 %	100 %
アスファルト・コンクリート塊							
スラック材							
建設発生木材							
建設汚泥							

\* 建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

- ①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。
- ②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。
- ③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

\* 建設発生木材の中には、伐間除根材及び剪定材を含む。

\* 利用量等は、現時点で算出可能なものを記載する。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤泥土(浚渫土)・・・浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

<参考> 重量換算係数 (トン/%)

項目	荷積み状態での換算値		実体積による換算値 参考値(トン/%)
	建設が「ドライン」値(注1)	参考値(トン/%)	
建設汚泥	1.2~1.6	1.4	1.4
コンクリート塊	(建設廃材)	1.8*注2	2.35(無筋)
アスファルト塊	1.6~1.8	1.8*注2	2.35
建設発生木材	0.4~0.7	0.5	
金属くず	1.4~2.0	1.5	

注1 : 建設が「ドライン」値: (「建設廃棄物処理が「ドライン」厚生省生活衛生局水道環境部産業廃棄物対策室監修)による値

注2 : これは運搬時における空隙を多く含む状態での標準的な換算値である。

項目	荷積み状態での換算値		参考値(トン/%)
	建設が「ドライン」値(注1)	参考値(トン/%)	
廃プラスチック	0.1~0.3	0.2	
建設混合	新築	—	0.31注3
廃棄物	木造解体	—	0.816
アスベスト	—	—	0.25
碎石	—	—	2.0*注4

注3: 建設混合廃棄物の新築は(社)建築業協会の調査結果(H2.9.30)、木造解体は「関東木造建設解体業連絡協議会」の調査結果(H3.3.4)による。

注4: 盛土状態での換算値。(「道路橋示方書・同解説」(社)日本道路協会)等による値。